

5分間ファイヤー・ドリルの実施要領

1 5分間ファイヤー・ドリルとは？

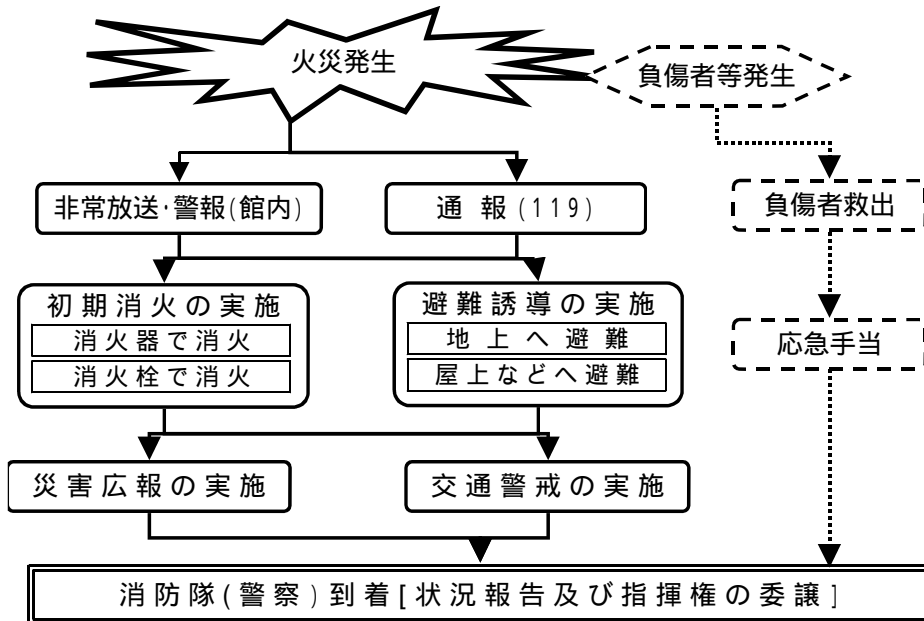
5分間ファイヤー・ドリル(以下「5FD」という。)とは、訓練内容を「初期消火」「通報」「避難誘導」といった項目に絞って行う訓練で、次の長所があります。

- (1) 少人数(2～3人)で行える。
- (2) 短時間(5分程度)で行える。
- (3) 少ない資機材で行える。

しかし、大がかりに行う総合的な訓練と比べて、関係機関や関係者同士の連携や実火災時の全体の活動を把握するには、少々物足りないところがありますが、行おうとする5FDが、全体のどの部分に位置づけられたものであるのかを明確にした上で行えば、総合的訓練の成果に近い効果を得ることができると思います。

ビル火災を想定した総合防災訓練の一般的な流れは、次のとおりです。

ビル火災総合防災訓練の一般的な流れ(消防隊等専門部隊の到着時まで)



2 訓練実施上の注意事項

訓練で負傷してしまえば、訓練の意味がなくなってしまいます。安全対策の詳細は、5FDの種目ごとに定めることとして、一般的に次の事項に留意しましょう。

- (1) 訓練実施前、実施中そして実施後の安全点検を十分に行うこと。

1人だけの単独訓練は、絶対に行わない様にするとともに、必ず、安全を担当する人を定めて行いましょう。

- (2) 安定した姿勢が保てるような安全な場所で行うこと。
- (3) 使用する設備や機器類の点検や使用方法を事前に確認しておくこと。
- (4) 服装は、運動の出来る身軽なものとする。
- (5) 訓練実施者の健康状態が悪いときは、訓練を中止すること。